

割のいい賭け - ダウンサイド・リスクは少ない

将棋でも碁でも柔道でも相撲でも、勝負事はすべて、「得意の型」に持ち込むまでが勝負である。「得意の型」に持ち込んでしまえば、勝敗は決したようなものである。逆説的だが、「得意の型」とは、その形になればかなりの確率で勝ちを収められる型をいうものだからだ。

僕にとっての「得意の型」が巡ってきた。今夜発表される米国の雇用統計に賭けるものだ。

市場が注目するNFP(ノンファーム・ペイロール:非農業部門雇用者数)の前月比というデータはブレが大きい。おおもとの非農業部門雇用者数の原数値が、1億4000万人という、莫大なオーダーである。それが前月比20万人増えたの減ったの言っても、0.1%という比率。ましてや、「25万人の予想だったが20万を下回った」などというのは誤差の範囲でしかない。だから、NFPを予想してそれに賭けるといふものではまったくない。そういうのは丁半博打、ギャンブルである。

僕の「得意の型」とは一見するとリスクが大きいように見えるが、実はプラスのリターンとなる領域が大きい - すなわち期待値がプラスとなるようなイベントに賭けることである。

事象としてはネガティブなことが起きる確率が高い。しかし、そうなっても市場(投資)のリターンがマイナスとなる確率は少ない。そのギャップが儲けのチャンスである。

今朝のテレビ番組で、株式市場の見通しを聞かれた。

キャスター: 今日の東京市場、どうなりそうですか?

広木: 今日はイースターのグッドフライデーで欧米市場がお休みで市場参加者も少なく、そこにきて米国の雇用統計を控えているとあつては様子見気分の強い展開となりそうです。

と、というのが一般的なコメントでしょう。でも僕はそういう「セオリー通りの展開」にはならないんじゃないかと思うんです。

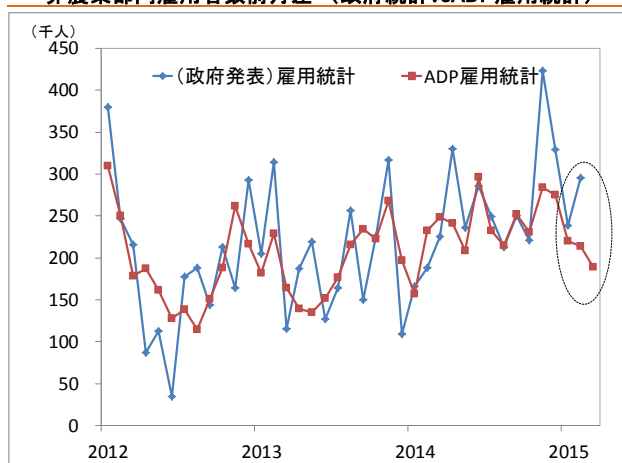
キャスター: どうしてですか？

広木: 今晚発表の雇用統計、NFPは 25 万人程度の予想ですが、先行指標のADP雇用リポートが前月比で 18 万 9000 人と市場予想を大きく下回ったことから、弱い数字になるのではと警戒感が出ています。ADPだけでなくISMはじめ、このところ発表された米国の景気指標は軒並み弱い。だから雇用統計の下振れにはある程度、備えができています。予想は下回っても 20 万人を割らなければむしろ上出来という評価になるのではないかと。

キャスター: なるほど弱い数字はある程度織り込み済みだというわけですね。

広木: 可能性としては下振れる確率が高い。だけどそれは織り込んでいるからダウンサイド・リスクは少ない。結果的にアップサイドの余地のほうが大きく残されている。雇用統計発表前に今日、東京でポジションとるのは悪くないベット(賭け)だと思います。

非農業部門雇用者数前月差 (政府統計vsADP雇用統計)



(出所)マネックス証券作成

もうひとつのポイントは、今日の米国株式市場が休場だ、という点である。仮に悪い数字が出て、「NYダウ平均〇〇ドル安の大暴落」という事態には - 少なくとも今日は - ならない。市場が休みだからである。ということは、雇用統計の結果を見て、NY市場が開く前の月曜日に東京市場で手仕舞うことができるということだ。

株価が高値圏にあるときなら、こんなリスクは冒さないだろう。但し、日本株は一旦調整を見て過熱感

は薄らいでいる。もうここから下値余地はあまりないだろう。売る人はすでに売ってポジションも軽くなっている。テクニカル面、需給面でも下押しリスクは少ないと言えるだろう。

(これと同等の投資アイデアについての詳しい説明は 2014 年 2 月 6 日ストラテジーレポート「[雇用統計に賭ける](#)」をご参照ください)



利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会